アクションパッド
使用説明書

必ずお読み下さい!!

★お客様登録のお願い★

　この表紙の裏側にありますアンケート用紙にご記入の上ご返送頂きますと、自動的にお客様登録され下記のサービスをお受け頂くことができます。各商品ごとに 1 ～ 2 週間くらいお使いの上でアンケートにご記入頂き、ご返送下さいますようお願い申し上げます。

　ご購入日から２ヶ月を過ぎてもご返送がない場合は、お客様登録ができませんのでご注意下さい。

表面フィルムの簡単な破損につきまして、特別価格にて補修させて頂くか、補修フィルムを無償でご提供致します。

生命を包む世界品質

ACTION JAPAN

★ アクションパッド取り扱い説明書 ★

必ずお読み下さい

警　告

＜警告＞

- 燃やしたり、火を近づけたりしないで下さい。
- この商品を食べることはできませんので、口に入れないようご注意下さい。
- 熱湯や消毒液をお使いの時は、使用者と患者様の安全に十分にご注意下さい。
- 本品は、介護環境や患者様の身体状態など、すべてのケースで床ずれ防止を保証するものではありません。万一、本品使用中に床ずれが発生・進行した時は、すぐに医師にご相談下さい。

注　意

- 本書に記載されていないことでご不安や疑問がございましたら、必ず販売店または、アクション・ジャパン株式会社へお問い合わせ下さい。
- 色や手触りだけを似せた商品が出回っており、多数の苦情が弊社まで寄せられておりますが、これらの商品と弊社とは一切関係がございませんのでご注意下さい。

★ 全ての商品に共通の注意点

1．直射日光を当てないで下さい。

太陽光線（紫外線）の当たる場所でご使用の時は、必ず専用のカバーかそれに代わるカバーをかけて下さい。長時間紫外線が当たると、材質変化を起こすことがあります。

2．本品を運ぶ際は、本品の下から持ち上げて下さい。

本品の上や横、端を持って引っ張ったり掴んだりしますと、フィルムが破損する場合があります。（図１）

本品を持ち上げる場合は、本品の下側に手を入れて持ち上げて下さい。（図２）

シート状の本品は、丸めてお持ち下さい。（図３）
車椅子用は、付属のカバーに入れてお持ち下さい。

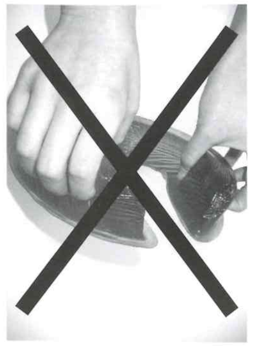
図１

図２

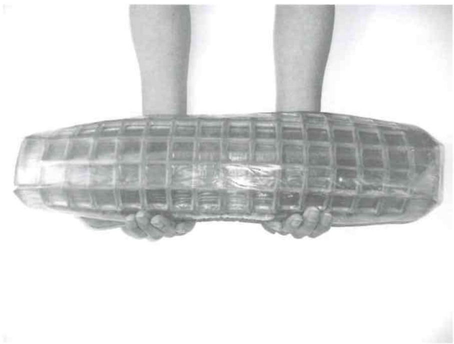
図３

3．表面フィルムが破れた時は、なるべく早く補修する必要があります。

万一、本品表面フィルムが破れたり穴があいた場合は、汚れが付着したり、破損が拡がる原因になります。補修の仕方や補修用フィルムについては販売店または、アクション・ジャパン株式会社へお問い合わせ下さい。

4．お手入れと消毒について

本品は、石鹸・洗剤・液状漂白剤や熱湯消毒などでお手入れができます。
ただし、表面フィルムを傷つけるおそれのあるもので擦らないで下さい。
また、消毒液等に漬け置きすることは避けて下さい。表面フィルムの性状が変わる恐れがあります。

120℃まで耐熱性がありますが、それ以上の温度での蒸気滅菌（オートクレーブ）は使用しないで下さい。（本品の性状が変わる恐れがあります）

5．その他、以下のようなことも破損の原因となりますので、お気をつけ下さい。

・折り曲げた状態で圧力をかけたり、保管しないで下さい。
・表面が傷つく可能性のある金属などを近づけないで下さい。
・後傾（お尻が前にずれた）姿勢など、斜め横の荷重が長時間かかると、表面フィルムの破損につながりますので、やむを得ない場合は、背抜き（一度体を持ち上げて、パッドが変形しないようにお乗りいただく）をして下さい。

6．使用説明書は必ず保管して下さい。

今後長い期間本品を快適にお使い頂くことと、お客様が何年先でもご質問・ご相談があった時に問い合わせ先がわかるようにするために、この取り扱い説明書は大切に保管して頂きますようお願い申し上げます。

★ ベッド用商品の注意点

1．ベッドシーツ（敷き布団カバー）の上に本品を置いて下さい。

2．クッション性の良すぎるマットレス等と併用される場合は、沈み込むことによってご使用者の動きを制限するだけでなく、体の両サイド等に圧力やずれが集中する場合がありますのでご注意下さい。

エアマットやウォーターマットとの併用については、さらに注意が必要ですので、 販売店または、アクション・ジャパン株式会社へお問い合わせ下さい。

3．冬季に冷たいとお感じの場合は、次のような方法で暖めることができます。

（１）電気毛布や電気アンカを併用する。（低温火傷にご注意下さい）
（２）専用カバーの中にタオル等（縦か横に伸縮する素材が望ましい）を入れる。
（過度に厚いものを入れると、本品の圧力分散効果が低下しますので、使用開始初期の温冷感を遮断する必要最小限の厚みに留めて下さい）

★ 車椅子用商品の注意点

1. 滑り止めの付いた方が下側になるように置いて下さい。（ロゴマークが表側です。 図４）

警告：人が座る面に滑り止めのある面を向けると、体を動かした時に皮膚が引っ張られる可能性がありますので、絶対にそのような使い方をしないようにして下さい。
注意：椅子などの表面素材によっては、滑り止めが色移りする可能性がありますのでご注意下さい。

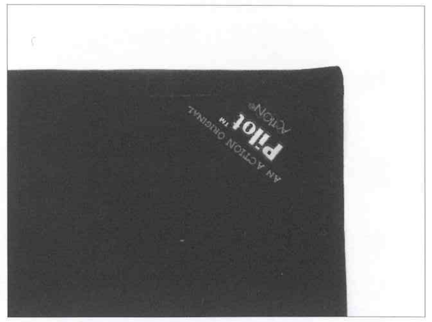

図４

2. 車椅子に座っている時は、体重の多くを臀部で受けることになりますので、床ずれの危険性が高くなる場合があります。肘や足にも体重が分散されるように、アームレスト（肘置き台）やフットレスト（足乗せ台）の高さを専門家と相談して適切に調整して下さい。

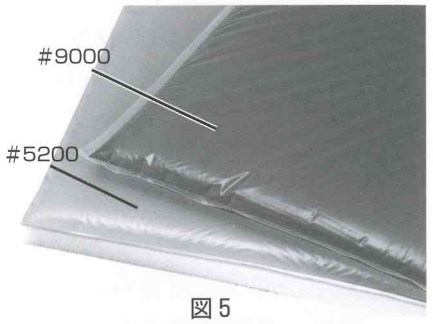

図５

3. 「冷たい」や「熱い」と感じられる時は、下記のとおりご対応下さい。

（１）カバーを開け、本品だけの商品かスポンジがついた商品かをご確認下さい。（図５）
（２）本品だけの商品の場合は、本品の上にタオル等を入れて下さい。（図６）
（過度に厚いものを入れると、本品の圧力分散効果が落ちますので、冷たさや熱さを遮断できる必要最小限の厚みに留めて下さい）

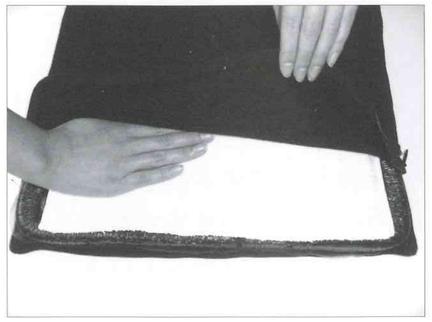
図６

★ その他の商品の注意点

1. アクションパッドは、ベッド用や車椅子用商品などを除いて様々な形状がありますが、これらは使用目的が異なるなどの理由から標準カバーをご用意していません。
表面フィルムと皮膚が直接に密着すると、汗や薬液による粘着作用で、表皮剥離の危険性があります。本品が皮膚と直接に接触しないよう適切なカバーをお使い下さい。

この際、カバー生地によっては圧力やズレ力の分散能力が落ちますので、下記の条件に当てはまるカバーをお勧め致します。
（１）縦か横の両方、またはいずれかに伸びる生地
（２）手の甲を滑らせてザラザラ感がない生地
（３）ムレ防止の点からは、通気性のある生地の方が良いとされます。
＊余った生地をパッドの下側などに巻き込むと、生地が張ってしまい圧力やズレ力の分散能力が落ちますので、上に被せる程度にして下さい。

吸水性につきましては、吸水して湿った生地が皮膚に接触することで、皮膚がふやける原因となることがありますので、吸水速乾性の生地が適しています。
やむを得ず防水性の生地を使用する場合は、水分が溜まってしまうと皮膚がふやける原因となりますので、溜まった水分の吸収か、溜まらないように工夫をする必要があります。

2. 本品の顔面用やかかと用は、患者に合った大きさのものを、正しい位置に置くようにご注意下さい。特に顔面でお使いの場合は、パッドが目や鼻などにかからないようにして下さい。

また、馬蹄型やドーナツ型を頭部に使用する場合も、耳介にかからないようにご注意下さい。
馬蹄型やドーナツ型は、平状のタイプと比べて接触面積が小さくなるために、部分的に圧力が高くなること、空洞部分に皮膚が引っ張られるなどの危険がありますので特にご注意下さい。

3. 体位保持をする際、下記のような場合には皮膚に多大のズレ力が生じることがあります。ズレ力が加わった（皮膚が引っ張られた）状態では、通常よりも小さな圧力、短い時間で床ずれができる危険性が増しますのでご注意下さい。

（１） 側臥位（横向き）のように左右に傾斜がかかった体位。
（２） 頭部や脚部など体の一部を持ち上げた体位。
（３） 患者を一度寝かせてから、下方向などにずらした場合。
（４） 基本体位をとってから、他の体位保持用具などを差し込んだ場合。
これらは一例ですが、本品を使用していない部位も含めて、皮膚が引っ張られていないかご確認下さい。体位を保持した後には、定期的に頭部、上肢、体幹、下肢など部位ごとに背抜きと同様の作業を行なうことをお薦めします。

4. 電気毛布の併用は可能ですが、下記の点にご注意下さい。

（１） 電気毛布の上に本品を敷いて下さい。
（２） 本品上部の温度は、電気毛布の設定温度よりもやや低くなります。
（３） 本品と体が直接接触していると、条件によっては本品の一部分に熱がこもるホットポイント現象が発生し、低温火傷の原因となることがありますので、必ずカバーをお使い下さい。
（４） 本品の表面温度がご希望の温度になるまで時間がかかることがあります。

5. 汚れた場合は、丸洗いをするか消毒液などで清拭をして下さい。化学的殺菌・紫外線殺菌等は材質が変性することがありますのでおやめ下さい。
表面フィルムが破損した場合は、 破れた内側まで消毒を行い乾燥させた後で、補修用フィルムで補修して下さい。
(補修フィルムについては、販売店または、アクション・ジャパン株式会社にお問い合わせ下さい)

その他、使用方法や床ずれ・介護方法についてご質問等がございましたら、お気軽に弊社までお問い合わせ下さい。

輸入総代理店／発売元
アクション ジャパン 株式会社
〒658-0046　神戸市東灘区御影本町2-9-16
ＴＥＬ：078-843-5417　FAX：078-843-6817
e-Mail: info@actionjapan.co.jp
サイト：http://www.actionjapan.co.jp